T&D保険グループ

平成２３年８月１０日

各　位

株式会社Ｔ＆Ｄホールディングス
（コード番号 8795　東証・大証第一部）
太陽生命保険株式会社
大同生命保険株式会社
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社

平成２４年３月期第１四半期決算のお知らせ

Ｔ＆Ｄ保険グループ（Ｔ＆Ｄホールディングス、太陽生命、大同生命、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命）の平成２４年３月期第１四半期（平成２３年４月１日～平成２３年６月３０日）の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績（生命保険会社３社合算：個人保険・個人年金保険）

○**新契約高**は、１兆７，２６２億円、前年同期から８．９％の減少、
○**解約失効高**は、１兆８０５億円、前年同期から５．０％の減少、
○**保有契約高**は、５８兆２，４３２億円、前年度末から０．３％の増加となりました。

損益関係（Ｔ＆Ｄホールディングス連結）

○**経常収益**は、５，８１４億円、前年同期から９．４％の減少、
　うち**保険料等収入**は、３，８４３億円、前年同期から０．１％の増加となりました。
○**経常利益**は、２８８億円、前年同期から２１．０％の減少となりました。
○**四半期純利益**は、１０２億円、前年同期から２７．０％の減少となりました。

通期業績予想

○**通期業績予想**の修正はありません。

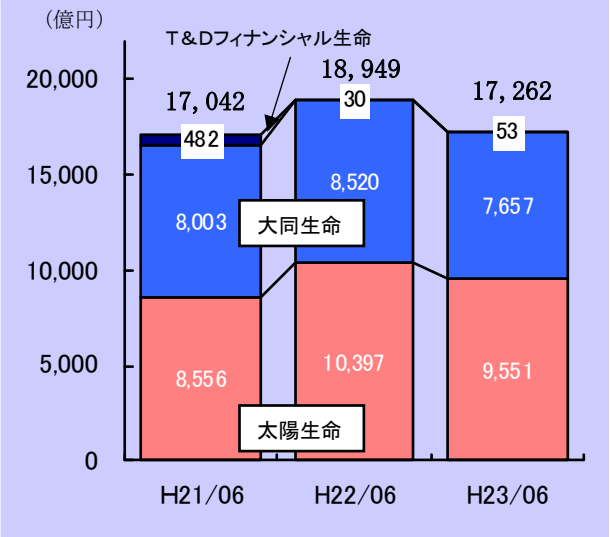
以　上

【お問合せ先】

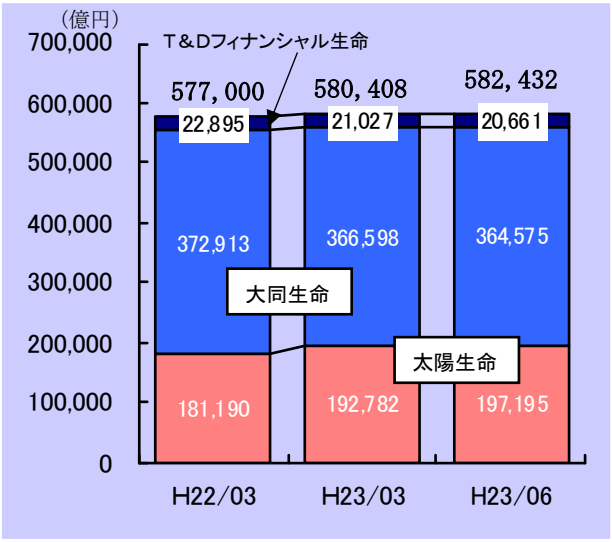
株式会社Ｔ＆Ｄホールディングス　広報部　松尾　TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社　広報課　家徳　TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社　広報課　前田　TEL 03-3434-9190
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社　広報課　進藤　TEL 03-3434-8840

［契約業績（個人保険・個人年金保険）］

○新契約高の推移（３社単純合算）



○保有契約高の推移（３社単純合算）



（億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第１四半期累計	前年同期比	当第１四半期累計	前年同期比	当第１四半期累計	前年同期比	当第１四半期累計	前年同期比
新契約高	17,262	1,687 減 (8.9%減)	9,551	846 減 (8.1%減)	7,657	863 減 (10.1%減)	53	22 増 (73.5%増)
解約失効高	10,805	566 減 (5.0%減)	3,066	262 増 (9.4%増)	7,532	759 減 (9.2%減)	206	68 減 (25.0%減)
（解約失効率）			(1.59%)	(0.04ポイント上昇)	(2.05%)	(0.17ポイント低下)	(0.98%)	(0.22ポイント低下)
新契約年換算保険料	261	16 減 (5.8%減)	120	6 増 (5.3%増)	138	22 減 (13.8%減)	3	0 減 (0.6%減)
うち医療保障・生前給付保障等	35	7 増 (26.2%増)	20	1 減 (8.3%減)	15	9 増 (159.2%増)	－	－ (－)

（注）１．新契約高には転換による純増加高を含んでおります。
２．解約失効率は、年換算しておりません。

（億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第１四半期末	前年度末 比較増減	当第１四半期末	前年度末 比較増減	当第１四半期末	前年度末 比較増減	当第１四半期末	前年度末 比較増減
保有契約高	582,432	2,023 増 (0.3%増)	197,195	4,412 増 (2.3%増)	364,575	2,023 減 (0.6%減)	20,661	365 減 (1.7%減)
保有契約年換算保険料	13,903	69 減 (0.5%減)	5,931	23 減 (0.4%減)	6,226	29 減 (0.5%減)	1,746	16 減 (1.0%減)
うち医療保障・生前給付保障等	1,622	3 減 (0.2%減)	1,077	5 減 (0.5%減)	501	3 増 (0.7%増)	44	0 減 (2.2%減)

■　３社単純合算

・**新契約高**は、１兆７，２６２億円、前年同期から８．９％の減少。
これは主に、太陽生命と大同生命の新契約高が前年同期より減少したため。

・**解約失効高**は、１兆８０５億円、前年同期から５．０％の減少。
これは主に、大同生命の解約が減少したため。

・**保有契約高**は、５８兆２，４３２億円、前年度末から０．３％の増加。
これは、太陽生命の保有契約高が前年度比２．３％増加したことなどによる。

■　各社の状況

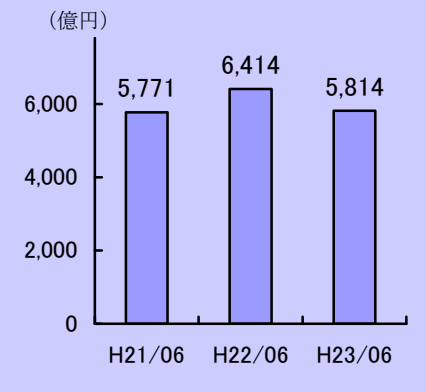
・**太陽生命の新契約高**は、９，５５１億円、前年同期から８．１％の減少。
これは、主力の「保険組曲Ｂｅｓｔ」の販売が前年同期を下回ったことによる。前年は「保険組曲Ｂｅｓｔ」の１つである「生活応援保険」の発売により前々年同期比２１．５％増と大きく伸展。今四半期はそれに及ばなかったものの、前々年同期に対しては１１．６％増となっている。

・**大同生命の新契約高**は、７，６５７億円、前年同期から１０．１％の減少。
これは、主力の個人定期保険の販売が減少したため。
主力の個人定期保険の新契約高に、同じく主力商品の一つとして昨年１０月に発売した「無配当重大疾病保障保険（Ｊタイプ）」の重大疾病保険金額を加算した金額でみた場合、７，８６８億円、対前年同期３．８％の減少。
※「Ｊタイプ」には普通死亡の保障がないため、新契約高には計上されていません。

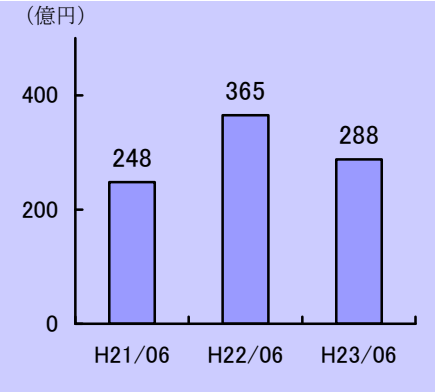
・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の新契約高**は、５３億円、前年同期から７３．５％の増加。

［損益関係］

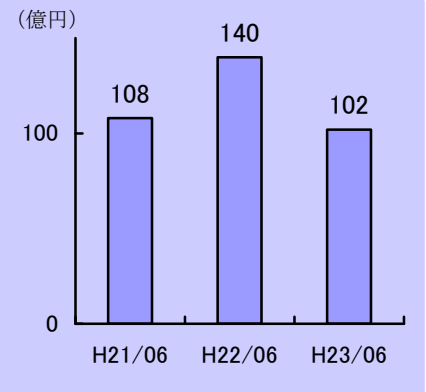
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○当期純利益（連結）



（単位：億円）

	T＆Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T＆Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
経常収益	5,814	600減 (9.4%減)	2,668	151減 (5.4%減)	2,789	38減 (1.4%減)	313	386減 (55.2%減)
うち保険料等収入	3,843	2増 (0.1%増)	2,014	25減 (1.2%減)	1,735	9増 (0.5%増)	91	17増 (23.5%増)
うち資産運用収益	711	309減 (30.3%減)	408	21減 (4.9%減)	312	80減 (20.4%減)	12	194減 (94.1%減)
うちその他経常収益	1,259	292減 (18.9%減)	245	105減 (30.0%減)	741	32増 (4.6%増)	210	209減 (49.9%減)
経常費用	5,525	523減 (8.7%減)	2,540	126減 (4.8%減)	2,610	21増 (0.8%増)	335	395減 (54.1%減)
うち保険金等支払金	4,602	49減 (1.1%減)	2,114	158減 (7.0%減)	2,203	44増 (2.1%増)	283	64増 (29.2%増)
うち資産運用費用	223	472減 (67.9%減)	100	26増 (35.7%増)	108	28減 (20.8%減)	28	455減 (94.1%減)
経常利益（△損失）	288	77減 (21.0%減)	128	24減 (16.1%減)	178	59減 (25.1%減)	△21	8増 (29.5%減)
特別利益	0	0減 (96.8%減)	―	0減 (100.0%減)	―	0減 (100.0%減)	―	0減 (100.0%減)
特別損失	72	1増 (2.8%増)	36	1増 (3.3%増)	35	1増 (4.4%増)	0	0減 (72.9%減)
契約者配当準備金繰入額（△戻入額）	72	6増 (9.4%増)	39	3増 (9.4%増)	32	2増 (9.5%増)	△0	0減 (―)
税引前四半期純利益（損失△）	144	85減 (37.3%減)	51	29減 (36.3%減)	110	64減 (36.8%減)	△21	9増 (29.7%減)
法人税等合計	41	47減 (53.9%減)	△4	20減 (―)	49	29減 (37.6%減)	△6	2増 (26.0%減)
四半期純利益（△損失）	102	37減 (27.0%減)	56	9減 (13.9%減)	60	34減 (36.2%減)	△15	6増 (31.2%減)

（参考）

資産運用関係収支（一般勘定）	512	326減 (38.9%減)	307	52減 (14.5%減)	205	76減 (27.1%減)	6	199減 (96.8%減)

（注）1．T＆Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
2．保険料等収入の3社単純合算は3,841億円（前年同期比0.0%増）です。
3．資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

■　Ｔ＆Ｄホールディングス連結

・**経常収益**は、５，８１４億円、前年同期から６００億円の減少。
これは主に、資産運用収益、その他経常収益（責任準備金の戻入額）等の減少による。
・**経常利益**は、２８８億円、前年同期から７７億円の減少。
これは主に、太陽生命と大同生命の資産運用関係収支が減少したことによる。
・**四半期純利益**は、１０２億円、前年から３７億円の減少。
なお､東日本大震災に係る保険金等の支払見込み額は､３社の安否確認活動結果等に基づき再評価したことにより、１１０億円と前年度末１７０億円から６０億円減少。

■　太陽生命の状況

・**経常収益**は、２，６６８億円、前年同期から５．４％の減少。
・**保険料等収入**は、２，０１４億円、前年同期から１．２％の減少。
これは主に、個人保険・個人年金保険の収入保険料が増加したものの、団体年金保険の収入保険料が減少したことによる。
・**経常利益**は、１２８億円、前年同期から１６．１％の減少。
・**四半期純利益**は、５６億円、前年同期から１３．９％の減少。
なお、価格変動準備金に３５億円の繰入を実施（うち３０億円は超過繰入)。また、東日本大震災に係る保険金等の支払見込み額は、３２億円と前年度末４９億円から１６億円減少。

■　大同生命の状況

・**経常収益**は、２，７８９億円、前年同期から１．４％の減少。
これは主に資産運用収益が減少したため。
・**保険料等収入**は、１，７３５億円、前年同期から０．５％の増加。
これは主に、一時払終身保険の販売が増加したため。
・**経常利益**は、１７８億円と前年同期から２５．１％の減少。
これは主に一般勘定資産運用収支が減少したため。
・**四半期純利益**は、６０億円、前年同期から３６．２％の減少。
なお、価格変動準備金に３３億円の繰入を実施（うち２９億円は超過繰入)。また、東日本大震災に係る保険金等支払見込み額は、７５億円と前年度末１１８億円から４３億円減少。

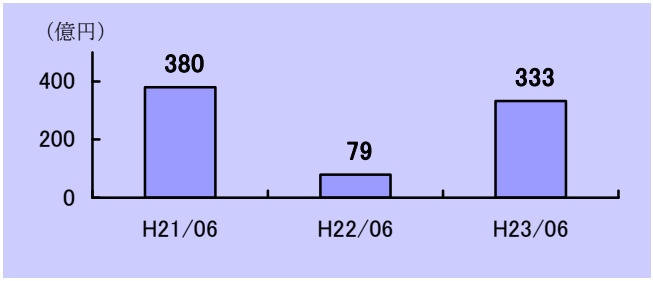
■　Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の状況

・**経常収益**は、３１３億円、前年同期から５５．２％の減少。
これは主に、相場変動に伴い、金銭の信託運用益が金銭の信託運用損に転じたことや変額個人年金保険の責任準備金戻入額が減少したことによる。
・**保険料等収入**は、９１億円、前年同期から２３．５％の増加。
・**経常利益（△損失）**は、△２１億円、前年同期から２９．５％の改善。
・**四半期純利益（△損失）**は、△１５億円、前年同期から３１．２％の改善。
なお、東日本大震災に係る保険金等支払見込み額は、前年度末２億円から若干減少。

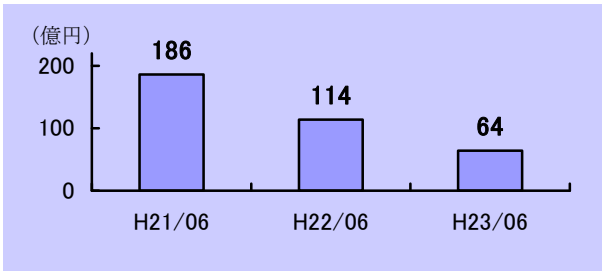
［その他の指標等］

＜基礎利益と逆ざや＞

○基礎利益（３社単純合算）



○逆ざや額（３社単純合算）



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第１四半期累計	前年同期比	当第１四半期累計	前年同期比	当第１四半期累計	前年同期比	当第１四半期累計	前年同期比
基礎利益	333	253 増 (319.8%増)	141	49 増 (53.4%増)	192	13 増 (7.7%増)	△0	190 増 (99.7%減)
逆ざや額	64	50 減	21	31 減	36	18 減	7	0 減

■　３社単純合算

・**基礎利益**は、３３３億円、前年同期から２５３億円の増加。
これは主に、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の基礎利益の改善による。

■　各社の状況

・**太陽生命の基礎利益**は、１４１億円、前年同期から４９億円の増加。
逆ざや額は、２１億円、前年同期から３１億円の改善。
これは主に、利息及び配当金等収入の増加および、予定利息負担が減少したため。

・**大同生命の基礎利益**は、１９２億円、前年同期から１３億円の増加。
逆ざや額は、３６億円、前年同期から１８億円の改善。
これは主に、利息及び配当金等収入の増加および、予定利息負担が減少したため。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の基礎利益**は、△０億円、前年同期から１９０億円の改善。
これは主に、相場変動に伴い、変額個人年金保険の最低保証責任準備金の繰入額が減少したことによる。
逆ざや額は、７億円と前年同期並み。

＜ソルベンシー・マージン比率＞

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第１四半期末	前年度末比	当第１四半期末	前年度末比	当第１四半期末	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	1,167.9%	61.8ポイント低下	1,254.6%	17.4ポイント上昇	601.7%	9.5ポイント低下
(参考)新基準による ソルベンシー・マージン比率※	652.3%	18.5ポイント低下	744.8%	24.2ポイント上昇	555.3%	15.8ポイント低下

※2012年3月期より導入される新基準に基づくソルベンシー・マージン比率

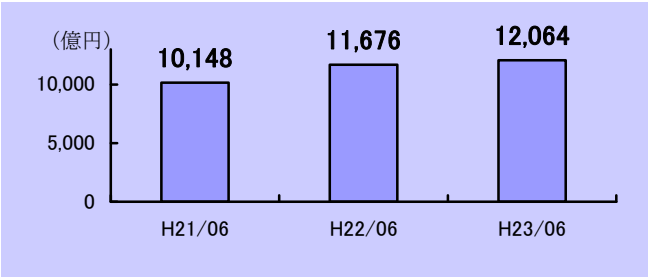
■　各社の状況

・**太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、１，１６７．９％、前年度末から６１．８ポイント低下。
これは主に、ヘッジ取引の減少により資産運用リスクが増加したため。

・**大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、１，２５４．６％、前年度末から１７．４ポイント上昇。
これは主に、純利益・価格変動準備金の積み上げやその他有価証券評価差損益が増加したため。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、６０１．７％、前年度末から９．５ポイント低下。
これは主に、相場変動によりソルベンシー・マージン総額が減少したため。

＜実質純資産（３社単純合算）＞



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第１四半期末	前年度末比	当第１四半期末	前年度末比	当第１四半期末	前年度末比	当第１四半期末	前年度末比
実質純資産	12,064	586 増	4,932	396 増	6,200	165 増	931	24 増

（注）ＥＥＶ計算上の修正純資産は、グループが 9,031 億円（前年度末比 416 億円増）、太陽生命が 4,020 億円（同 278 億円増）、大同生命が 4,395 億円（同 120 億円増）、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命が 615 億円（同 17 億円増）です。

■　３社単純合計

・**実質純資産**は、１兆２，０６４億円と、前年度末から５８６億円の増加。
これは主に、太陽生命および大同生命の純利益・価格変動準備金の積み上げや有価証券の差損益・含み損益の増加による。

■　各社の状況

・**太陽生命の実質純資産**は、４，９３２億円、前年度末から３９６億円の増加。
これは主に、純利益・価格変動準備金の積み上げや公社債等有価証券の差損益・含み損益の増加による。
・**大同生命の実質純資産**は、６，２００億円、前年度末から１６５億円の増加。
これは主に、純利益・価格変動準備金の積み上げや有価証券の差損益・含み損益の増加による。
・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の実質純資産**は、９３１億円、前年度末から２４億円の増加。
これは主に、満期保有目的債券の差損益の増加による。

＜有価証券差損益（一般勘定）＞

（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第１四半期末	前年度末比較増減	当第１四半期末	前年度末比較増減	当第１四半期末	前年度末比較増減	当第１四半期末	前年度末比較増減
有価証券差損益(一般勘定)	2,742	595 増	1,756	398 増	904	165 増	81	31 増
うち公社債	1,735	632 増	1,032	422 増	622	178 増	80	31 増
うち株式	1,100	119 減	778	100 減	322	19 減	－	－
うち外国証券	△111	73 増	△115	61 増	3	12 増	－	－
うちその他の証券	△95	20 減	5	2 増	△102	22 減	1	0 減
うち金銭の信託	△2	0 減	－	－	△2	0 減	－	－
うち買入金銭債権	116	29 増	55	12 増	61	16 増	－	－
土地等の差損益	191	1 減	15	0 減	175	0 減	－	－

（注）１．有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。
２．土地等の差損益については、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しております。

［平成２４年３月期通期業績予想］

平成２３年５月１９日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。
参考として、同日公表の業績予想を再掲いたします。

○Ｔ＆Ｄホールディングス連結

（単位：億円）

	平成２３年３月期実績	平成２４年３月期予想	増減
経常収益	19,930	19,500	430 減 (2.2%減)
経常利益	949	1,130	180 増 (19.0%増)
当期純利益	238	360	121 増 (50.8%増)

1 株当たり年間配当金予想は 45 円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社３社（単体）の平成２４年３月期の通期業績予想は次のとおりです。

（単位：億円）

	太陽生命	大同生命	Ｔ&Ｄフィナンシャル生命
経常収益	8,900 (297 減) (3.2%減)	9,100 (526 減) (5.5%減)	2,700 (1,636 増) (153.9%増)
経常利益（△損失）	570 (71 増) (14.4%増)	540 (51 増) (10.6%増)	0 (70 増) (－)
当期純利益（△損失）	160 (34 増) (27.2%増)	200 (39 増) (24.5%増)	△0 (63 増) (100.0%減)

（注）括弧内は平成２３年３月期からの増減額・率です。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以　上

（参考）生命保険会社３社の平成２４年３月期通期見通し

（単位：億円）

	３社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,350 (272 増) (25.3%増)	550 (45 増) (9.1%増)	670 (48 増) (7.8%増)	130 (178 増) (－)
保険料等収入	16,700 (1,962 増) (13.3%増)	7,200 (20 増) (0.3%増)	7,100 (71 減) (1.0%減)	2,400 (2,013 増) (521.4%増)
逆ざや額	130 (163 減) (55.7%減)	40 (30 減) (43.0%減)	70 (121 減) (63.4%減)	20 (12 減) (37.6%減)
新契約高	68,300 (4,817 増) (7.6%増)	29,500 (1,367 増) (4.9%増)	36,500 (1,367 増) (3.9%増)	2,300 (2,082 増) (959.1%増)
保有契約高	585,700 (5,291 増) (0.9%増)	203,100 (10,317 増) (5.4%増)	361,300 (5,298 減) (1.4%減)	21,300 (272 増) (1.3%増)
解約失効率（%）		6.3 (－)	8.9 (0.1 ポイント上昇)	3.7 (0.7 ポイント低下)

（注）１.括弧内は平成２３年３月期からの増減額・率です。
２.新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。
また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以上